

明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画 (UD計画)の改定について

本市では、誰もが安全で快適に移動できるよう、2020年3月に「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画」(以下「UD計画」という。)を策定し、現在は、市内各地区の特定事業※について定める基本構想の策定に順次取り組んでいるところです。

この度、JR明石駅・山陽電鉄山陽明石駅周辺地区の基本構想を策定しましたので、検討経過及び基本構想の内容について報告いたします。

※地区内の生活関連施設(公共施設、商業施設、都市公園、旅客施設、学校等)及び経路(道路、駅前広場等)のバリアフリー化を具体化するために位置付ける事業

1 検討経過について

地域住民や障害当事者と一緒に分科会(まちあるき及び意見交換)を行い、頂いた意見について、学識経験者や障害当事者、公共交通事業者等で構成するユニバーサルデザインのまちづくり協議会で報告するとともに、関係事業者(施設管理者)と調整を行いました。

その結果を反映した改定素案について、パブリックコメント及び協議会での意見聴取を行いました。

時期		明石市ユニバーサルデザインのまちづくり協議会	分科会
2024年	11月		第1回明石分科会 ・まちあるき及び意見交換
2025年	1月		第2回明石分科会 ・基本構想についての意見交換
	8月	2025年度 第1回協議会 ・JR明石駅・山陽電鉄山陽明石駅周辺地区基本構想の策定状況について	
	12月	UD計画改定素案(基本構想案)についてのパブリックコメント	
2026年	1月		
	2月	2025年度 第2回協議会 ・JR明石駅・山陽電鉄山陽明石駅周辺地区基本構想案について	

2 頂いた意見及び基本構想の内容について

分科会・パブリックコメント等での主なご意見と基本構想（特定事業）への反映については、以下のとおりです。

- 市道で、誘導ブロックがすり減っている箇所があり、視覚障害者が認識しにくい。
 - 誘導ブロックの改修を特定事業に位置付けます。
- 文化博物館内のエレベーターに、分かりやすいサインや音声案内を取り入れてほしい。
 - エレベーター改修を特定事業に位置付け、障害者の意見を取り入れて設計します。
- 国道・県道沿いの歩道で、狭い・段差が大きい等、整備が不十分な箇所があるので、市から国・県に積極的に情報提供してほしい。
 - ユニバーサルデザインのまちづくり協議会には、国・県職員も委員として参画しており、まちあるきでの意見等を踏まえて調整を行った結果、国道2号・28号の歩道改修等を特定事業に位置付けています。



頂いたご意見及び協議会での検討結果を踏まえ、公共交通や道路、路外駐車場などに係る特定事業を設定しました（詳細は、別紙「UD計画(改定素案：抜粋版)」参照）。

【参考：まちあるき及び意見交換の様子】



3 今後のスケジュールについて

次年度につきましては、JR大久保駅周辺地区の基本構想を策定する予定です。

今後も、本市のまちづくりの状況を踏まえながら、順次、各地区の基本構想を策定し、具体的な取組（整備・改修等）を進めてまいります。